

「大城小学校の昔ながらの米づくり伝承活動の取組」

1 学校名 和泊町立大城小学校

2 学年・人数 小学1年生から6年生（計48名）

3 日時・場所

（1）活動の日時（場所）

平成31年1月中旬 種まき・育苗（大城小学校郷土資料室）

2月中旬 代かき（大城小学校学校田）

2月27日 田植え（同上）

令和元年7月1日 稲刈り（同上）

7月17日 脱穀（大城小学校校庭ガジュマル下）

10月下旬 精米（餅つき用）

11月1日 餅つき（大城小学校中庭）

11月下旬 精米（創立記念日販売用）

（2）発表の日時・場所

令和元年12月1日 創立記念日学習発表会で発表（大城小体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

（1）名称

大城小学校の昔ながらの米づくり

（2）由来

校歌に「美田（うました）下に見下ろして」とあるように，かつて米作りが盛んだった大城小学校区。減反政策により沖永良部から田んぼが姿を消す中，子どもたちに昔の米づくりを経験させたいとの地域・教員の願いから，昭和60年に学校横に田んぼを復活させ，以来毎年米づくりを行っている。

5 保存会や地域との連携の具体

活動は大城小PTAを中心に，PTAのOBで組織する準会員の方々の協力を得ながら進めている。米づくりに関しては，沖永良部事務所農業普及課の方に指導していただき，これまで引き継いできた資料を改善しながら活動を行っている。また，餅つきの時には，準会員の方々に餅を丸める際の手伝いや，子どもたちの指導もしていただいた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

5・6年生を中心に米づくりを総合的な学習の時間の単元に位置付け，体験的学習を展開し，学習発表会の際に発表している。また，学校のキャッチフレーズ「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」の具現化を期して，餅つき大会には地域の長寿会の方々を招待し，つきたての餅を振る舞っている。12月1日の開校記念日には，お米の販売も行い，好評を得ている。

7 取組の様子



〔大城小学校田での田植え〕



〔大城小学校田での稲刈り〕



〔校庭での脱穀作業〕



〔もちつき大会〕

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

〔児童〕

天気が悪い日が多かったけど、たくさんお米ができたのでよかった。沖永良部で米を作っているところはほとんどないので、貴重な体験ができた。これからも米づくりのことを勉強して、もっとたくさん収穫できるようにしたい。創立記念式典で販売したとき、たくさんの地域の方々に買っていただいてうれしかった。

〔PTA〕

校章にも描かれている米の図柄を思い起こしながら、本年度も米づくりに取り組んだ。刈り取りは子どもたち中心で、大人は藁で縛っていく作業をしたが、子どもたちの笑顔を見ながら楽しく作業をすることができた。PTA会員数も減少しているが、少ない会員の中で協力し合い、収穫・餅つきまで子どもたちとともに活動することができた。大城小の伝統を残すため今後も学校と協力していきたい。

〔教員〕

「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」のキャッチフレーズのもと、昔ながらの米づくり体験を通じて、郷土の先人の知恵や苦労を学ぶ貴重な機会となっている。現在はサトウキビや花卉、ジャガイモが中心になっているが、米作りをする中で、沖永良部の農業の変遷も学ぶことができている。今後も、祖先から引き継いだ伝統をこれからも大切にしていきたい。